

日本気象学会昭和59年春季大会参加申し込みおよび参加費等の送金について

昭和59年日本気象学会春季大会事務局

昭和59年5月23～25日に東京において開催される、日本気象学会春季大会への参加申し込みおよび参加費、懇親会費の納入は、会場受付における混雑を防止するため、原則として郵便振替による事前申し込み（送金）とすることにしましたので、趣旨ご理解の上、下記によりお申し込みくださるよう会員各位のご協力をお願いします。

記

申込方法 必ず3月号に挿入してある払込用紙を使用し、必要事項を記入（裏面の通信欄もお忘れなく）の上、最寄りの郵便局窓口払い込む

こと（払込料金は不要）

払込期限 昭和59年5月1日（以後の払い込みは行き違いの原因になるのでご遠慮願います）。

受領証 郵便窓口で発行する「郵便振替払込金受領証」は大会当日受付に提示していただくので、大切に保存し、各自必ず持参のこと。

大会参加費

会 員	1,000円
学生会員	500円
一 般	1,500円
懇親会費	2,500円

第8回風工学シンポジウム開催と発表論文の募集について

<主旨> 構造物の耐風性等、風工学に関する気象、土木、建築、電気の各分野における研究成果と技術の交流を目的として、標記シンポジウムを下記により開催することになりました。

発表論文をふるってご応募くださいますようご案内いたします。

<共催> 日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科会、土木学会、日本気象学会、日本建築学会、日本鋼構造協会、電気学会、日本風工学会（幹事学協会）

- 開催期日 昭和59年12月6日（木）、7日（金）
- 会 場 気象庁講堂
- 発表論文の募集

(1) 課題

課題はつぎによるものとし、内容は独創性あるものでなければならない。

- 自然風の性質
- 環境と自然風
- 強風災害
- 風圧・空気力および構造物周りの流れ
- 風による構造物の応答
- 耐風設計
- 計測方法・風洞実験法

(2) 応募方法

- 論文提出希望者は、昭和59年6月30日（土）ま

で、①所属学協会、②氏名（連名の場合は発表者に○印を付ける）、③勤務先と職名、④連絡先、⑤論文名、⑥上記(1)の課題(a)～(g)を記入のうえ、A4版用紙に邦文2000字程度により、発表の目的、論旨、結論が明確に分かるような内容梗概を記し、幹事学協会に提出する。

なお、主要な図表の添付が望ましい。また論旨、結論には独創性のある点に言及すること。

(b) シンポジウム運営委員会は、発表論文の採否を昭和59年7月中旬までに決定し、応募者に通知する。

(c) 発表論文の執筆

- 論文採否通知の際、採用された論文者には執筆要領および所定原稿用紙を送付する。ページ数は8ページ以内（英文概要1ページを含む）の偶数ページとする。

論文原稿は昭和59年9月14日（金）までに今回の幹事学協会である日本風工学会に提出する。

- 提出原稿はタイプ打ち（ワープロも可）とする。

(3) 提出先・問い合わせ

日本風工学会
「第8回風工学シンポジウム係」
〒160 東京都新宿区西新宿 8-20-4
ストックビル成子坂
TEL. 03-371-1612